

対称形マイクロサンプルチューブを初めてお使いの方へ

取扱上の注意

* スピニングしないこと

* シム調整

初めて使われる場合は、各溶媒ごとの対称形チューブ用のシム値を作る必要があります。
オートシムではうまくいかない場合があります。

* 内管位置を調整してサンプルとの間の気泡を抜いてください。

真空遠心機にかけると気泡が出にくくなります。それでも出る場合は

- ①空気を抜くように内管をゆっくり回しながら入れ、液面につける。
- ②気泡が発生した場合チューブを45度傾け、左手で外管の底を、右手親指と中指で外管の開口部を持ち、人差し指を内管の上端部に当てる。
- ③そのまま人差し指で、内管を底まで入れないように注意して、少し強めにすばやく押し込む。
- ④気泡が消えたら、内管を液面まで戻す。

泡が抜けない場合は、再度繰り返してください。

ゆっくり挿入



泡に当たったら素早く押し込む



泡に当たったら素早く押し込む



戻す



詳しくは <https://www.shigemi.co.jp/products02>